



各 位

会社名 株式会社シーエーシー
代表者名 代表取締役社長 光山 治雄
(東証1部 証券コード 4725)
問合せ先 常務取締役 神谷 敏
(電話 03-3263-7241)

子会社の異動(取得)に関するお知らせ
㈱ビートゥビー・テクノロジーを完全子会社化

株式会社シーエーシー(本社:東京都千代田区一ツ橋 2-4-6、略称:CAC)は、2001年9月19日開催の取締役会において、ソフトバンクグループとの合併会社である株式会社ビートゥビー・テクノロジー(略称:B2Bテクノロジー)におけるソフトバンクグループが所有する同社株式(発行済株式総数の45%)を取得、完全子会社化することを決議致しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 完全子会社化の理由

CACの連結対象子会社であるB2BテクノロジーはCAC(出資比率55%)とソフトバンク・テクノロジー株式会社(代表者:石川憲和、東京都中央区日本橋箱崎町24-1 出資比率40%)並びにソフトバンク・イーシーホールディングス株式会社(代表者:宮内謙、東京都中央区日本橋箱崎町24-1 出資比率5%)の3社合併により2000年4月に設立、インターネットを利用したB to B向けEC(企業間電子商取引)システムの開発・運用サービスを提供しております。

同社は、ソフトバンクグループと米国パーティカルネット社の日本における合併会社であるパーティカルネット株式会社が運営するB to Bの産業別総合ポータルサイトのシステム開発及び日本への移植・導入を設立時の事業目的の1つとしており、約1年に渡って当該システムの移植・導入事業を行ってまいりましたが、2001年3月末をもってパーティカルネット株式会社の自社運用という形でプロジェクトを完了致しました。

その後本年4月より、B2Bテクノロジーは米国アリバ社の間接材購買のパッケージ製品“ Ariba ”（アリバ）を新たな中核事業として位置付け事業展開に取り組んでまいりましたが、CACもアリバ導入のシステム・インテグレータの1社として正式認定されており、グループ事業としての選択と集中の観点からも、CACとB2Bテクノロジーが一体となってビジネスを推進していくことが望ましいと判断し、ソフトバンクグループとの合意のもとでこの度の完全子会社化を決定したものです。

今後は、B2Bテクノロジーが培ってきた実践的なノウハウ等を活用しCACグループとして機動的な事業展開を図ってまいります。

2. B2Bテクノロジーの概要

- (1) 商号 株式会社ビートゥビー・テクノロジー
- (2) 代表者 代表取締役社長 金澤 薫
- (3) 所在地 東京都中央区日本橋箱崎町24番1号
- (4) 設立年月日 2000年4月11日
- (5) 主な事業内容 B to B向けECシステムに関わる企画、設計、構築、運用及び保守
- (6) 決算期 12月
- (7) 従業員数 11名(2001年6月末現在)
- (8) 資本の額 1億円
- (9) 発行済株式総数 2,000株
- (10) 株主構成 株式会社シーエーシー(55%)、ソフトバンク・テクノロジー株式会社(40%)、ソフトバンク・イーシーホールディングス株式会社(5%)
- (11) 最近事業年度における業績の動向

	2000年12月期	2001年6月中間期
売上高	35百万円	55百万円
経常利益	45百万円	17百万円
当期純利益	45百万円	17百万円
総資産	69百万円	65百万円
株主資本	54百万円	36百万円

(注1) 2000年12月期は2000年4月～12月までの9ヵ月決算であります。

(注2) 金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

3. 取得株式数、取得金額および取得前後の所有株式の状況

ソフトバンクグループが所有するB2Bテクノロジーの発行済株式総数の45%(2,000株中の900株)をCACが取得致します。

- (1) 異動前の所有株式数 1,100株(所有割合 55.0%)
- (2) 取得株式数 900株(取得価額 45百万円)
- (3) 異動後の所有株式数 2,000株(所有割合 100.0%)

4. 日程

- ・2001年9月19日 取締役会決議
- ・2001年9月19日 株式取得契約締結
- ・2001年9月28日 株券取得期日（予定）

5. 業績への影響

B2Bテクノロジーの完全子会社化によるCACの2001年12月期連結業績に与える影響は軽微であります。

以上

お問い合わせ先：**株式会社シーエーシー**
IR室 島田、井上
TEL：03-3263-8955
E-Mail：ir@cac.co.jp